

石綿に関する研究について

厚生労働科学研究費補助金にて以下の2件の研究を実施する。

平成17年8月4日に第1回の研究班会議が開催され、今後の実施計画等について協議を行った。

1) 中皮腫の実態調査に関する研究

(岸本卓巳「中皮腫と職業性石綿ばく露に関する研究」)

- ・平成15年に人口動態統計に登録されている、中皮腫で死亡した878名、及び現在治療中の方々に関して、調査研究を実施。
- ・年齢、性別、石綿ばく露歴の有無等の情報について医療機関等から情報を収集し、中皮腫と職業性石綿ばく露の関連について実態を明らかにする。
- ・中皮腫登録制度のあり方についても検討していく。

2) 職種別の石綿ばく露リスク評価に関する研究

(森永謙二「石綿ばく露関連職種に関する研究」)

- ・労働者の健康診断で撮影した胸部レントゲン写真を職業・職種別に検討し、石綿ばく露の指標となる胸膜プラークの有所見率を算出し、職業別のリスクについて検討する。
- ・さらに、内外の文献から、石綿の種類／石綿製品の種類別にみた発がんリスクを調査する。
- ・得られた結果は、今後、健康管理手帳交付要件を検討する際の参考資料として利用する。